



公開シンポジウム

人間機械協奏技術とその人材育成を考える

日時 12月22日（火） 14:30-16:30

開催方法 オンライン

主催 人間機械協奏技術コンソーシアム（JST/OPERA）
名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所
早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム

開催趣旨

ウイズコロナの生活では、様々な先端技術が日常生活に取り入れられる日々でもありました。自宅に居ながら多くの人とコミュニケーションをしたり、遠隔で講義を受けたりすることは、今や日常の一部です。「働き方」の変革も進み、製造や物流現場のAI化・自動化が急速に進みつつあります。自動運転が象徴するように、すでに、人間と自動機械とがどのように力を合わせ、責任を分担するかについて、技術的・社会的な研究の必要性が認識されていましたが、コロナはその必要性を増大させたと言ってよいでしょう。我々は、JST/OPERA事業を通じて、人間と自動機械とが協奏するためのプラットフォームを共同で作成するとともに、周辺技術の人材育成を進めて来ました。今回のシンポジウムでは、「労働」と人間センシングの観点から人間機械協奏を考えるとともに、OPERAの成果を活かした新しい大学院プログラムの紹介をいたします。

プログラム

14:30-14:40 開会あいさつ

武田一哉（人間機械協奏技術コンソーシアム代表理事）

14:40-14:50 【来賓挨拶】

文部科学省における人間機械協奏技術と人材育成の動向（仮題）

14:50-15:30 【招待講演】

ストレスと過労（仮題）

（日本労働科学学会 酒井一博会長）



15:30-16:00 人間機械協奏現場における人間の計測技術

（早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構 大橋啓之）

16:00-16:30 JST/OPERAプロジェクトの成果と卓越大学院への発展

（産業技術総合研究所・名古屋大学）

参加方法

下記フォームより事前登録をお願いします。

<https://forms.gle/Sdem2DKSKDoxLqZQ6>